

昨年度のこども・若者からの意見を 受けての取組について

2025-08-29

奈良県立美術館



奈良県文化創造ギャザリングを開催しました。

有識者の方々にお集まりいただき、『県立美術館のあり方について』をテーマに国内外の事例やトレンドを踏まえた意見をいただきました。今後も引き続き、奈良県の文化振興を図るため美術館のあり方を検討していきます。

8月末には「こどもまんなかクラブ」に所属しているこどもたちと高円芸術高校の生徒たちがあつまって、奈良県立美術館の将来像について意見交換しました。



- ・芸術は知識がなくても楽しめる、気軽に楽しめる、ということが伝わる美術館になってほしい。
- ・学生など美術館職員以外の方が企画や広報にかかわる美術館、自分以外の人の作品を見た感想も知りたい。
- ・美術館が作品を見て楽しんで終わるのではなく、見て自分で考える場になれば良い。
- ・見るだけでなく五感で体験できる場所になると行きたくなる。
- ・体験できる美術館、作品を制作できるワークショップ、自分が作ったものを飾ってもらえればうれしい。
- ・「体験」とは、「誰かと一緒に創る」、または「1人で創る」こと、そして自分の中で楽しかったなという思い出が残ることだと思う。

「わたしたちのびじゅつかん」をキーワードに
子どもたちのためにさまざまな
作品展示や芸術普及活動を用意

ワーク
ショップ
&
アート
イベント



展覧会
&
鑑賞教育

コレクション展

わたしたちの びじゅつかん



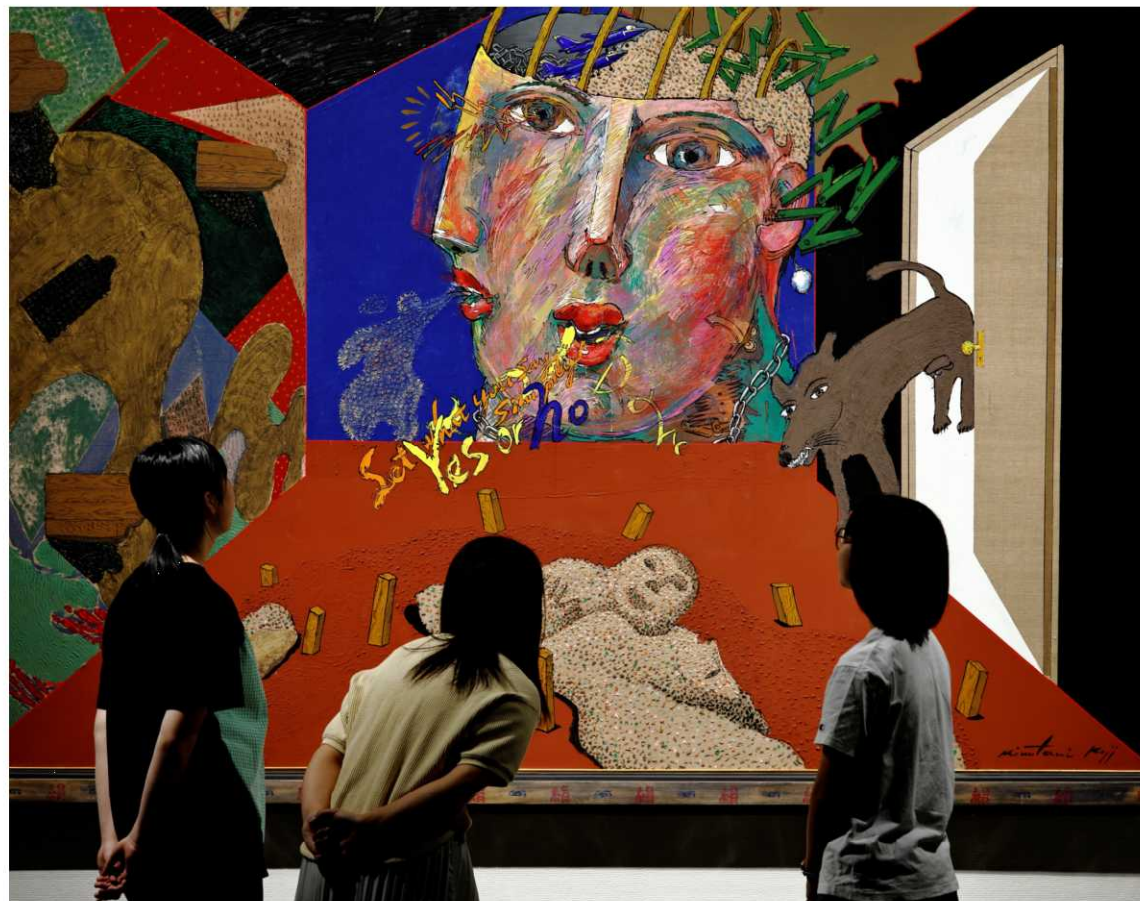
たいげん
する
美術展

会期：2025年7月19日（土）－ 8月24日（日）

会場：奈良県立美術館

主催：奈良県立美術館

助成：一般財団法人地域創造



気楽に楽しむ美術展 「対話型鑑賞ラボ」



アートは知識がなく
ても楽しめる！
自分なりの見方・考
え方を発見しよう！



ワークシートを記入しながら作品を見ていきます



学生や地域の人と 一緒に作る美術展

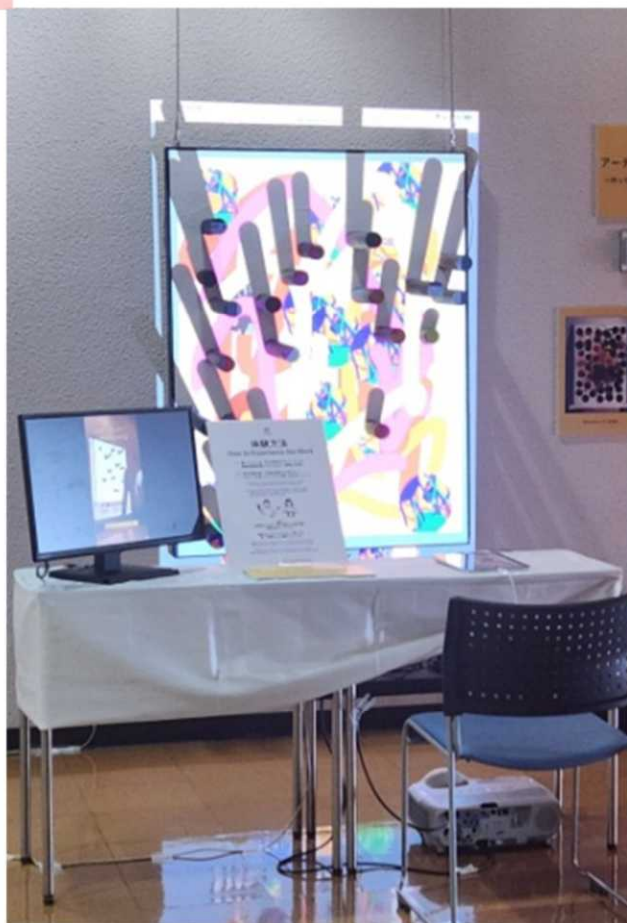
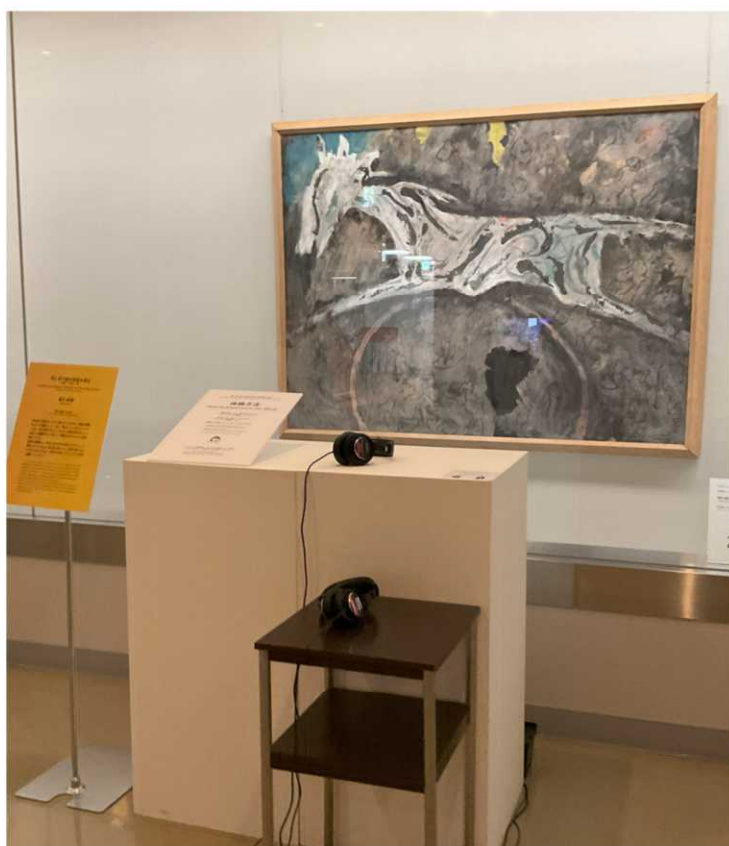
関連展示として、大阪芸術大学アートサイエンス学科の学生の連携展示、奈良市中学校美術部の作品展を開催。

アート夏祭りは、地域で子供向けワークショップを開催するNP0団体や個人などの協力を得て実施。



体験する美術展 五感を使った鑑賞

大阪芸術大学によるメディア
アートの体験型作品の展
示や岡山大学によるAI(人工
知能)との対話型鑑賞の実
験など



体験する美術展 つくる体験

小学生向けアート体験
ワークショップ
アーティストや研究者
と一緒にアート体験を
しよう！



みんなとたのしむ ひとりでたのしむ



学校連携事業①

対話型鑑賞教室

アートカードの出前授業

図工・美術の授業の一環で、アートカードを使った対話型鑑賞の出前授業を実施。生徒は楽しみながら美術鑑賞のコツを学びました。

- ・ 郡山中学校2年生（生徒数279人） 6月12日、19日実施
- ・ 郡山南小学校5年生（生徒数93人） 7月3日実施



学校連携事業②

ミーツ・アーティスト・イン・スクール

プロフェッショナルな表現者が学校現場に赴くことで、生徒児童は普段とは違う経験をすることができます。第一線で活躍するアーティストたちにとっても、子どもたちのみずみずしい感性に触れる時間は貴重なものになっています。



トライ式高等学院西大寺キャンパス

「展覧会紹介動画をつくってみよう」

講師：肥後沙結美(ディレクター／クリエイター)、
松本魁(映像クリエイター)

関西文化芸術高等学校

「コンテンポラリーダンス・ワークショップ」

講師：三崎彩(ダンサー)



インクルーシブアートミュージアム構想 「わたしたちのびじゅつかん」

(趣旨)

「インクルーシブアートミュージアム構想」は、美術館が社会的な課題や問題に取り組み、地域のニーズに応える美術館になることで、異なる背景を持つ人々が共に学び、理解し合う場をつくり、共生社会の実現をめざすものである

●令和8年度も夏休み時期の展覧会を軸に教育普及事業を実施●